

平成30年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	多階層オミックスによる卵子の発生能制御分子ネットワークの解明
研究代表者	佐々木 裕之（九州大学・生体防御医学研究所・教授）
研究期間	平成30年度～平成34年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、卵子の抑制型プログラムに焦点を当て、主要なエピジェネティクス因子の関係を多層的オミックスにより解明することを目的としている意欲的な研究提案である。</p> <p>また、本研究は世界のエピゲノム研究を牽引し、哺乳類の生殖・発生サイクルとエピゲノムに関して多面的な解析を行ってきた応募者のこれまでの研究活動に裏付けられており、本研究計画による研究成果は、卵子をモデルとした生殖トランスオミックス分野の創出につながるものであるとともに、新たな学術を切り拓く基盤を与えるものである。</p>